

「命の大切さを意識してみよう」

「僕は生きるんだ！ “命のある限り ”」 動物からの声です。



僕の名前はグレイ。通称グーと呼ばれているんだ

僕の病気は「糖尿病」

血糖値は **450**～**597** をいたりきたりだ。



お陰で体はガリガリに痩せちゃったよ。
僕はいつもお腹が空いてくるんだよ。
何でも食べちゃうから下痢が止まんないさ。
「卑しいなんて言わないで」
食べないと体が震えてくるんだよ。

僕は飼い主に、捨てられたねこだったんだよ。
いつの日か・・・飼い主さんの姿が見えなくなったんだ。
夜になっても次の日の太陽が昇っても僕は一人ぼっち。
すごく寂しかった！不安だった！
食べるものも無いしお腹が空いて～空いて～たまんなかった！
毎日、毎日食べる為に餌を探して町をうろうろ！
棒を持って追いかけてくるオジサンやシッシッと怖い顔して汚いものでも見るように水をかけるオバサン！
僕、何にも悪いことしてないのに・・・涙がでてくる。
ニャ～ンニャ～ンニャ～いくら呼んでも飼い主さんの顔が見えないんだ。
どうしたの？どうなるの？不安な気持ちが大きく大きく広がるんだ！
足がもつれて前に進まないよお・・・体が燃えるように熱いニャー
だるくて喉がカラカラだよ。「歩けニャ～い」どこかのマンションの前で
座り込んでしまったんだ。声を振り絞って飼い主さんと呼んでみた。
「ニャ～ゴニャ～ン僕はここにいるよ～助けてニャ～」
5月18日僕の声聞いた小母さん二人が、駆け寄って来てくれた。
餌を久しぶりにもらった。

どんどんおかわりしちゃったよ～。小母さんに救われてキャリーバックの中さ。一晩中キャリーの中で・・・ウンチが我慢できなくて・・・結局ウンチまみれになり病院へ運ばれた。

僕の病気が糖尿病と判り入院さ！

体を拭いてもらってさっぱりしたけど病院でくれる餌は僕には足りない！

退院の前に病院の先生から延命治療のインシュリンをすべきか・・・どうか・・・

選択をせまられ僕を拾ってくれた今の飼い主さんは、あれもこれも駄目では残る命を生きていくのに辛いのではないかと考え、普通食を好きなだけ食べさせて見守るといふことで退院したよ。

2ヶ月間そうした中で体調が悪くなり又病院で検査をしてもらったら、インシュリンが必要、特別食に切り替えるということになりました。

今の飼い主さんは悩んだ末に僕との時間を少しでも長くとりたいたからと毎回、病院で注射の仕方のお勉強さ。

先生に叱られながら**1**週間目免許合格だって・・・僕嬉しかったよ
だって病院に行くの嫌いなんだ～

僕の部屋にはもう**1**匹友達がいるんだよ。

茶とらのとら君だよ。彼はエイズプラスなんだって。

見た目は信じられない位体ががっしりしているんだよ。

とてもやさしくて色んな話を聞かせてくれるんだ。

赤ちゃんも一杯できたんだって。

あいたいなあと僕がせがんだら「無理」と一言で終わりさ！

急にママ猫と子ねこが姿を消したんだって言うんだよ。

何故？どうして？どこに行ったの？僕は聞いたよ。

とら君 涙を浮かべてた。・・・何も聞けなくなったよ。



僕達は誓ったよ！

頑張って生き抜いて二人で子供達を探しに行こう！・・・僕は病気になんか負けないで元気にならなくちゃ
とら君も一緒だからね！・・・と二人で約束したよ。

9月15日僕めまいがする。

何だろう？・・・とてもだるいし涙が出てくる。部屋の隅で落着こうかなあ
とら君が元気になり隣の部屋にいる猫ちゃんとおしゃべりしている声が聞こえる。僕も行こうとふらふらしながら出て行ったんだ。

皆やさしい仲間がいたよ。

僕明日は元気になるから今日は横になるよ～と
言って窓の近くで休ませてもらった。



9月16日朝食べた餌を吐いちゃった。

飼い主さんはびっくりして急いで病院に連れていってもらったら白血球が
80,000だって！

腎臓・肝臓機能が悪くなっていて貧血が起きているって先生が話している。

点滴を打ってもらうので入院になった。

寂しいなあ・・・

僕はとらとの約束があるから、入院になってもあきらめないで頑張るよ

退院したら又日記を書くよ

それまでの間お・や・す・みなさ～い

ゲーの日記より